MITSUBISHI

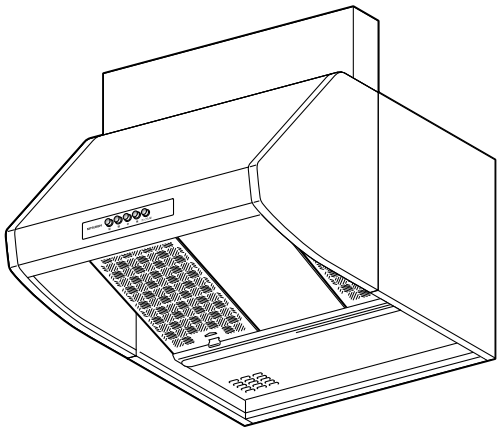
0808874HG9301

ブース形（深形）レンジフードファン

形　名

V-602K7(-BK)・V-604K7(-BK)・V-604KD7
V-605K7(-BK)
V-754K7・V-754KD7・V-904KD7

取扱説明書　お客さま用



もくじ　ページ

安全のために必ず守ること…2
使用上のお願い……3
各部のなまえ……4
使いかた……4〜5
お手入れ……6〜7
故障かな？と思ったら……7
アフターサービス……8
仕様……8

・お客さまご自身では取付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

・ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
・添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しをしない

爆発や引火の原因。
窓を開けて換気してください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない）

感電・ショート・火災の原因。

内釜式風呂を設置した住宅では使わない

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。

水かけ禁止

製品に水や洗剤をかけたりしない

ショートや感電の原因。

分解禁止

改造や工具を必要とする分解はしない

火災・感電・けがの原因。
分解・修理は修理技術者のいる販売店、または当社の修理窓口・ご相談窓口にご相談ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電・けがの原因。

指示に従う

交流 100V を使用する

直流や交流 200 V を使用すると火災・感電の原因。

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く

火災の原因。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電や火災の原因。

自然排気形のストーブを使う部屋では、部屋の空気取入れ口を設ける

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。

プラグを抜く

ランプを交換するときやお手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る

通電状態では感電やけがの原因。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

本体に異常な振動が発生した場合は使用しない

本体・部品の落下によるけがの原因。

指定以外のランプを使用しない

ランプ周辺が高温になり、やけどの原因。

接触禁止

運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない

けがの原因。

プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る

絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。

指示に従う

お手入れの際は手袋を着用する

金属などの端面によるけがの原因。

お手入れ後の部品の取付けは確実に行う

落下によりけがの原因。

電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因。

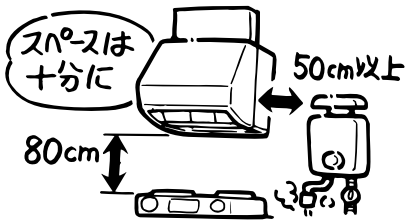
ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてから行なう

やけどの原因。

使用上のお願い

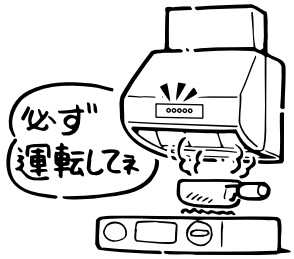
室内周囲温度は40℃以下で使用する
また、下図の寸法になっているか確認する

●本体の下端からガスレンジまでは80㎝以上必要で



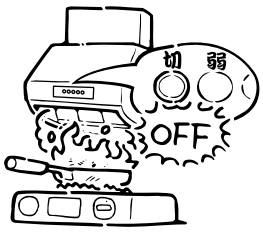
（モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因になります）

ガスレンジを使用するときは、必ずレンジフードファンを運転する



（レンジフードファンを運転しないと、本体内の温度が高くなり故障の原因になります）

料理中、誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、ふたをするなどして火を消す。同時にレンジフードファンの運転を停止する



（レンジフードファンを運転していると火の勢いがさらに強くなります）

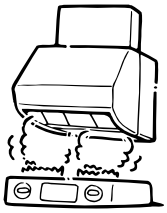
台所全体の換気には他の換気扇を併用する

●レンジフードファンは局所換気用です。

風の影響を受けやすいため、近くの窓を閉めて使用する

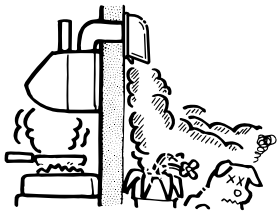
（油煙等の捕集効果がよくなります）

ガスレンジを空だき状態で長時間使用しない



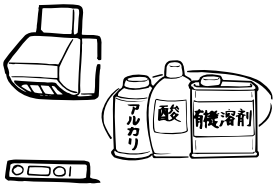
（故障の原因になります）

屋外排気口下側には油煙がかかる場合があるので、物を置かない



（植木が枯れたり、物が汚れる原因になります）

製品に酸・アルカリ・有機溶剤などの薬品がかからないか確認する



（サビ発生の原因になります）

レンジフードファンの運転中は給気を行ってください

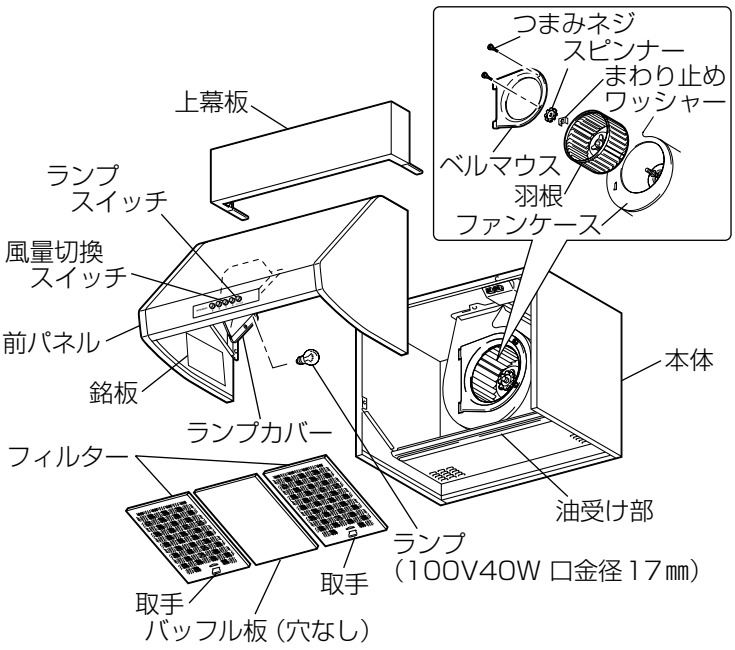
●レンジフードファンの反対側の壁に空気取入口を設けるか、部屋の扉（窓）を少しあけてください
密閉された建物では、汚れた空気を排出するためには新鮮な空気の入るところ（空気取入口）が必要です

フィルターの間または表面に市販の繊維フィルター等を取付けない

（火災予防条例上使用が制限されたり、風量低下の原因になります）

IHクッキングヒーター（電気コンロ）等を使用して、蒸気が多量に出る調理をされますと、レンジフードファン本体に結露（水滴）が生じ滴下する場合があります。
その際は、ご面倒ですが滴下する前に乾いた布等にて拭き取ってご使用ください。

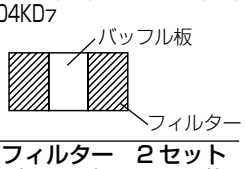
各部のなまえ



※図はV-604K7を示します。

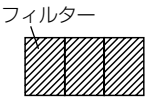
フィルターとバッフル板の枚数・取付位置

V-602K7（-BK）・V-604K7（-BK）
V-604KD7



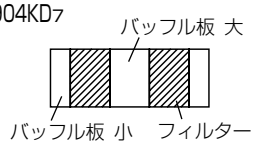
フィルター　2セット
バッフル板　1枚

V-605K7（-BK）



フィルター　3セット

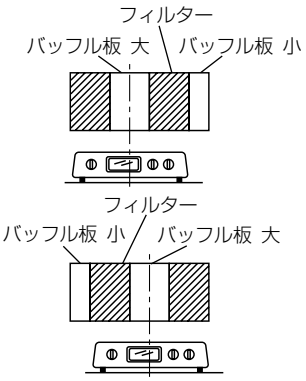
V-904KD7



フィルター　2セット
バッフル板　大1枚
小2枚

V-754K7・V-754KD7

ガスコンロの位置に合わせてバッフル板小の位置を変更してください。
（油煙等の捕集効果を高めるために必要です）



フィルター　2セット
バッフル板　大1枚
小1枚

お願い　●フィルターとバッフル板の取付位置を確認してください。

使いかた

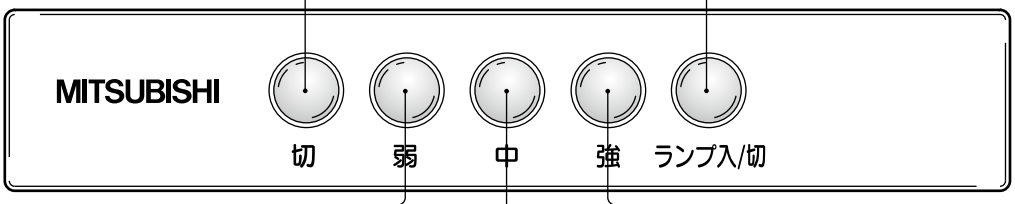
●形名により使用方法が異なりますので、ご使用の形名をご確認ください。

風量切換スイッチとランプスイッチで操作します。

■V-602K7（-BK）・V-604K7（-BK）・V-605K7（-BK）・V-754K7の場合

切ボタン
運転を止めるとき

ランプ入/切ボタン
手元が暗いとき
一度押すとランプ点灯
もう一度押すと消灯



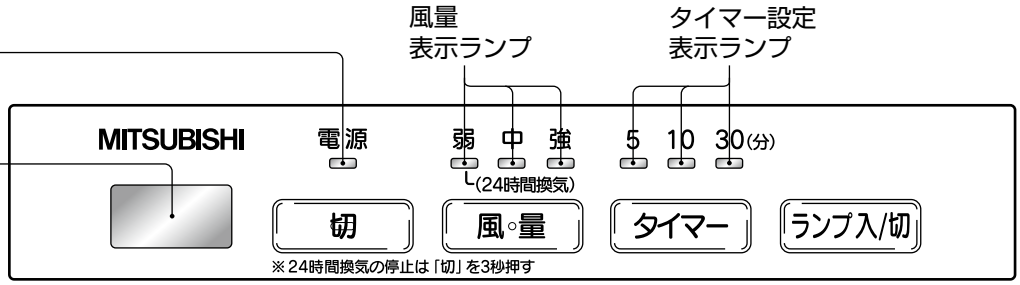
弱ボタン
煙が少ないとき
調理後の脱臭をするとき

中ボタン

強ボタン
煙が多いとき

※図は風量切替「弱」「中」「強」タイプを示します。

■V-604KD7・V-754KD7・V-904KD7の場合



切

弱（24時間換気）に切換えるとき
…短く押す
運転を止めるとき
…3秒間押す

風 量

押すごとに風量が切換わる
→「弱（24時間換気）」→「中」→「強」→

「強」…煙が多いとき
「中」…煙が少ないときや
調理後の脱臭をするとき

お願い

調理中は「強」か「中」で運転してください。「弱（24時間換気）」では換気風量が不足します。

ランプ入/切

一度押すとランプ点灯
もう一度押すと消灯

タイマー

押すごとにタイマー設定時間が切換わる
→「5分」→「10分」→「30分」→
連続（タイマー解除）→

- タイマー運転終了後は自動的に「弱（24時間換気）」に切換わり、連続運転します。
- 「弱（24時間換気）」ではタイマー機能がはたらきません。

24時間換気とは

居室内を小風量で24時間換気することによって計画的な空気の入換えを行ない、いつもクリーンな状態に保ちます。

- 「24時間換気」運転では風量が少ないため、羽根は低速回転で運転音も小さいですが、異常ではありません。

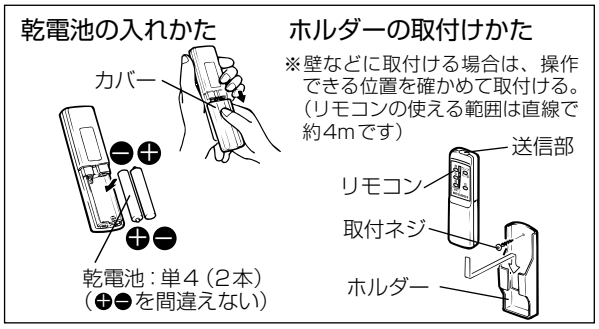
■V-604KD7・V-754KD7・V-904KD7の場合〔別売リモコン（形名）P-02WR2〕を使用してレンジフードファンの操作が可能です。

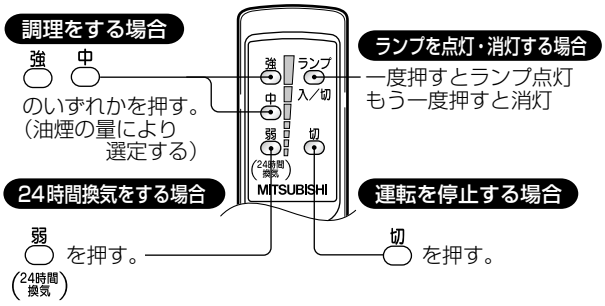
別売リモコンのお求めは、お買上げの販売店またはお近くの三菱電機ストアにご相談ください。

⚠注意

乾電池の使い方を誤ると、液漏れ、破裂、発熱のおそれがあり、けが、故障の原因となることがあります。

リモコンの操作方法





- （＋）（－）を正しく入れる。
- 充電しない。
- 充電式乾電池は使用しない。
- 新しい乾電池と古い乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しない。
- 絶対にショートさせたり、分解、加熱、火に入れるなどしない。
- 使い切った乾電池や、長期間使用しない場合はリモコンから取り出す。

お願い

- リモコン送信部を本体受光部に向けてお使いください。
- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- ホルダーは調理時の油煙等により汚れる場所には取付けないでください。
- リモコンが動作しなくなったり、信号が届きにくくなった場合は、新しい乾電池と交換してください。
- 電子点灯式の蛍光灯（インバータ蛍光灯など）の近くや、直接日光などの強い光があたる場所では、使える範囲が狭くなることがあります。本体受光部近くでお使いください。

メモ ●本レンジフードファンは、外風や室内圧の影響により、シャッターの閉止音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。

お手入れ

レンジフードファンが汚れてきたら、下記の方法でお手入れしてください。
本説明書以外の清掃方法については販売店にご相談ください。

⚠警告

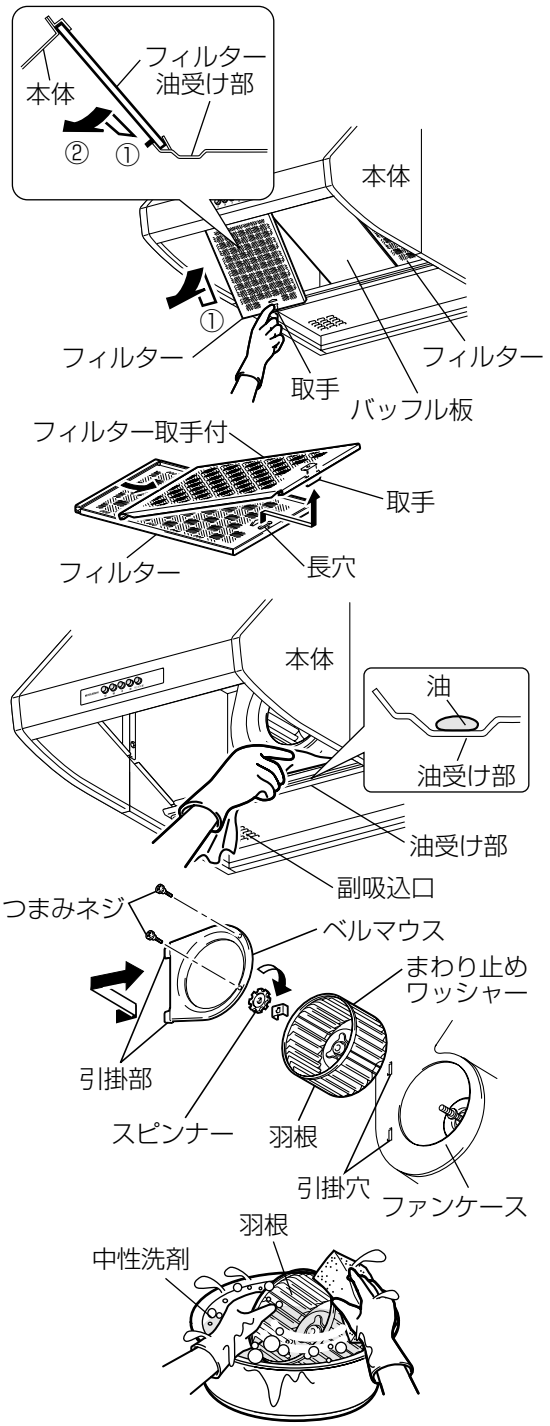
お手入れの際は、電源プラグを抜くか分電盤のブレーカを切る（感電やけがの原因。）

⚠注意

お手入れの際は手袋を着用する
（金属などの端面によりけがの原因。）

お願い
- 照明ランプ点灯中や消灯直後は清掃しない。（ランプ周辺が高温になり、やけどをするおそれがあります）
- KD7タイプは清掃中にリモコン操作しないでください。
（電源プラグ、分電盤ブレーカが入ったままですと羽根が回り危険です）

フィルターと油受けと羽根の清掃



フィルターの清掃……1か月に1度以上

1 フィルターとバッフル板をはずす。
①フィルターの取手を持ち、フィルターを少し持ち上げてから手前に引いてはずす。
②バッフル板の両側を持ち、少し持ち上げてから手前に引いてはずす。

2 はずしたフィルターを２枚に分ける。

3 フィルター・バッフル板は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。（フィルターは目にそってこすってください）

4 フィルター・バッフル板は汚れを落とした後、きれいな水で洗いよく乾かす。

お願い
- フィルターは変形しやすいものです。取扱いには十分注意してください。
- 金属タワシは使用しない。（塗装がはがれる原因になります）

油受け・副吸込口の清掃……1か月に1度以上

油受けおよび副吸込口周辺の清掃は、中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。

羽根の清掃……1年に1度以上

1 ベルマウスのつまみネジをはずす。

2 ベルマウスを右へ動かして引掛部をはずして取る。

3 羽根を押さえながらスピンナーを右へ回し、ゆるめる。

4 まわり止めワッシャーと羽根をはずす。

5 羽根は中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸してスポンジなどで軽くこすって汚れを落とし、きれいな水で洗いよく乾かす。

お願い
- 羽根の取扱いには十分注意してください。
変形すると異常音発生の原因となります。

6 取りはずしと逆の手順で各部品を取付ける。
羽根をしっかり奥まで押し込み、まわり止めワッシャーを付けてスピンナーを締め付ける。

お願い
- 羽根は確実に取付けてください。
ゆるむと異常音や部品破損の原因になります。

お手入れ後の組立て

フィルターとバッフル板を元の位置に取付ける。
（油煙等の捕集効果を高めるために必要です）
機種により枚数・取付位置が異なります。（4ページ参照）

本体外装のお手入れ

本体の清掃は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。

⚠警告

工具を必要とする部品の取りはずし、清掃は行わない
工具を必要とする部品例：モータ、その他電気部品
（火災・感電・けがの原因）

お願い

- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しない。**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤。
  （変質したり、塗装がはがれる原因になります）

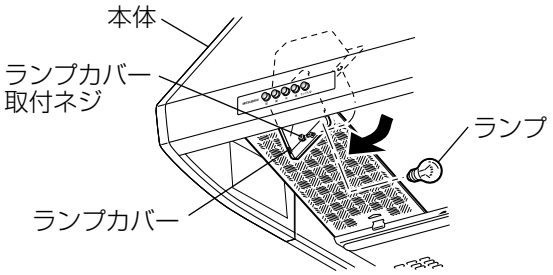
ランプの交換

⚠警告

ランプを交換するときは、電源プラグを抜くか分電盤のブレーカを切る（感電の原因）

⚠注意

指定のランプを使用する（ランプ周辺が高温になり、やけどの原因）



1. ランプカバー取付ネジをゆるめ、ランプカバーを開ける。
2. ランプを取出し、市販のランプ（小形白熱電球 100V、40W口金径 17㎜）をお求めのうえ交換する。
3. 取付けは取りはずしと逆の順序で行う。
4. 電源を入れ、ランプスイッチを押して点灯を確認する。

故障かな？と思ったら

このような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、分電盤ブレーカを切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。

症状	原因・処置	
●運転しない ●通電ランプが点灯していない（KDタイプの場合）	●本体に通電していますか？	●コンセントは接続してありますか？ ●分電盤ブレーカを点検してください ●停電ではありませんか？
●「切」ボタンを押しても運転が止まらない（KDタイプの場合）	●「切」ボタンを短く押した場合「24時間換気」運転に切換わります	●故障ではありません 運転を止めたいときは「切」ボタンを3秒間押してください
●吸込みが悪い	●フィルターが目詰まりしていませんか？	●フィルターを清掃してください P6
●運転中に異常音や振動がある	●本体・前パネル・羽根・フィルターが確実に取付けられていますか？	●本体・前パネル→販売店へ確認します ●羽根・フィルター→取付け直します
●ランプが点灯しない	●ランプが切れていませんか？	●ランプを交換してください P7
●リモコンで操作できない（KDタイプの場合）	●乾電池が古くなっていませんか？	●乾電池を交換してください P5
	●乾電池の「+」「−」が逆に入っていませんか？	●乾電池を正しく入れ直してください P5
	●本体までの距離が遠すぎませんか？	●本体受光部の近くでお使いください P5
	●蛍光灯や直射日光の影響を受けていませんか？	
	●本体受光部が汚れていませんか？	●受光部を清掃してください

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。
長年ご使用いただくためには、換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

形　　名	電圧（V）	ノッチ	消費電力（W）		風　量（m³/h）		騒　音（dB）		質　量（kg）
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-602K7 (-BK)	100	強	50	56	445	425	36	35	14.5
		弱	37	39	295	285	28	27.5	
V-604K7 (-BK) V-754K7	100	強	77	88	600	575	39.5	39	16.5 18.5 （V-754K7の場合）
		中	40	43	350	335	30.5	29	
		弱	20	21	230	225	21	20	
V-605K7 (-BK)	100	強	32	154	785	740	45.5	44.5	16.5
		中	67	70	460	415	34	33	
		弱	39	40	325	285	28	27	
V-604KD7 V-754KD7 V-904KD7	100	強	79	90	600	575	39.5	39	17.5 （V-604KD7の場合）
		中	42	46	350	335	30.5	29	19.5 （V-754KD7の場合）
		24時間換気	15	16	148	143	22	22	21.5 （V-904KD7の場合）

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。
※騒音値は無響室での測定値です。反響音等を含むためこれよりも高くなります。

愛情点検

☆ 長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
  （V-604KD7，V-754KD7，V-904KD7の弱（24時間換気）での低速回転を除く）
  ※モータはメンテナンスが必要な部品です。
- こげ臭いにおいがする。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ

サービスを依頼されるとき便利です。

形　　名	
お買上げ年月日	年　　月　　日
お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	 ― （　　）　　―

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号　電話 0573−66−2111

この説明書は、再生紙を使用しています。